

復興支援バス

平成24年10月27日(土)～10月28日(日)

さわやかな秋晴れとなった27日(土)、東京から須賀川へ、お客様が参りました。27日(土)～28日(日)にかけての旅程でいらっしゃった、須賀川サポーターズクラブ会員対象の「復興支援バス」ご参加の皆様です。

『復興支援バス』ツアーは昨年の東日本大震災による本市の被災状況や観光施設などを視察していただき、全国のサポーターと須賀川市の絆をより深めることを目的に開催されました。須賀川市出身の方を中心に、沢山のお客様が参加してくださったんです。

復興支援バス行程

◆27日(土)

8:00 東京発
13:20 昼食<長沼そば>
14:20 藤沼湖視察
15:30 まちなか散策
17:00 宿泊先へ
18:00 交流会

◆28日(日)

8:40 バス乗車
9:00 はたけんぼ
10:00 牡丹園
・語り部による民話
・散策
・須賀川物産店
12:00 昼食・かつぱ麺
13:00 博物館
14:20 産業フェスティバル
15:00 福島発

東京から高速バスに乗り込み、お昼ごろ須賀川へ到着したご一行は、まず幻の蕎麦といわれる長沼蕎麦を味わっていただきました。この長沼蕎麦は、現在恒常的に食べられるお店が存在しないことから、「幻の」といわれているんです。

蕎麦の香りが豊かで、コシの強い長沼蕎麦は大好評！



そして市内の震災被害の象徴ともいえる、藤沼湖を視察していただきました。

長沼支所地域づくり課の古川さんがご案内。藤沼湖は東日本大震災で決壊し、死者7人、行方不明者1人、流失もしくは全壊した家屋19棟、床上床下浸水家屋55棟という被害を出し、田畑の土壌も多くが流失しました。



古川さんのご説明を聞き、皆さん大きなショックを受けていらっしゃったようです。

地震が発生した2時40分ごろ、全員で黙とうを行いました。

15時半には須賀川市中心部へ移動し、まちなか散策へ。

市役所、田善通り、二階堂神社、諏訪神社の順に被害の大きかった場所をまわっていただきました。中には震災後一度須賀川市を訪問してくださった方もおり、「その時は表通りの松明通りしか見ていなかったけれど、一本路地に入るとこんなにも震災の被害が色濃く残っているとは思いませんでした」とショックを隠せない様子でした。



最後には須賀川市の昔の資料や写真を保管・展示している『知る古会事務所』へ。お客様のほとんどが須賀川市出身で今は県外にお住まいの方で、記憶の中の須賀川市と今の須賀川市を見比べながら、懐かしそうにお話が弾みました。

まちなか散策の途中で、久しぶりに同級生と会うことができた方もいらっしゃったんですよ。



27日の日程の最後は、市長も参加された交流会です。交流会は松明通りにあります、「ゆめぜん」さんで行われました。須賀川の野菜を使った揚げたての天ぷらや、会津の馬刺し、須賀川きゅうりの雑魚和えなど須賀川市・県内の食材をふんだんに使ったお料理ばかりがテーブルに並びました。野菜は全て須賀川産。須賀川の誇る農産物のおいしさを、味わっていただきました。

また、須賀川特産品のきゅうりの焼酎「すかQ」はお客様の中で大好評！メロンにも似た香りを持ち、飲み口もすっきりしたすかQを飲みながら、市長と和やかに意見交換を行っていました。

交流会は大変な盛り上がりを見せ、夜は更けていきました。



28日は、バスに乗ってまずJAはたけんぼへ。はたけんぼでは新鮮なお野菜・果物が並んでいました。お客様の多くは、梨・りんごをお買い上げ。2000円以上お買い物をすると須賀川の特産米「牡丹姫」のお米すくいを行えるサービスを行っており、皆さん奮ってご参加されていました。

その後、一行は紅葉の美しい牡丹園へ。市内で活躍する語り部の安田きよ子さんに、須賀川市に伝わる民話を聞いていただきました。

松明あかし由来にまつわるお話『三千代姫』や、『中町のおまんじゅう屋さん』、『月のうさぎ』などのお話を楽しみました。





その後紅葉の美しい牡丹園を散策。ちょうど見ごろの時期でした。寒牡丹も最近の冷え込みで一輪顔を出していたそうです。

昼食はかっぱ麺を食べた後、特別展『震災を乗り越えた資料たち』を開催している市立博物館へ。博物館長が案内してくださいました。

この特別展は震災により歴史民俗資料館（北町倉庫）や各地の土蔵が倒壊した中、貴重な姿を保つことのできた資料を主人公としたもので、個人宅に保管してあった貴重な資料や須賀川出身の銅版画家・亜欧堂田善の作品を主に展示していました。



須賀川名物 かっぱ麺



最後に須賀川アリーナで開催されていた産業フェスティバルへ。野菜の品評会・即売会の他、各種イベント・市役所観光交流課による松明あかしのPRも行われました。昨年の松明あかしの様子を見ることが出来るコーナーを設けたり、パンフレットも配布。復興支援バスのお客様も、足を止めて松明あかしの様子や由来に耳を傾けてくださいました。



野菜の品評会では、はたけんぼで購入したのにもかかわらず、沢山のお野菜をご購入いただきました。ありがとうございます。



2日間に渡り須賀川をご視察いただき、大変ご好評の内に幕を閉じた復興支援バス。こうして全国の皆様に須賀川の現状を知っていただくことが、復興への一歩になります。

**またのお越しを、
お待ちしております！**